



中竹っ子

学校だより ～第2号～
豊岡市立中竹野小学校
発行日 R3・5・21

ふるさとに誇りを持ち 夢に向かって たくましく生きる 中竹っ子の育成

例年に比べ、かなり早い梅雨入りとなりました。山々の緑は一層濃くなり、緑の芝生の上で元気よく遊ぶ子どもたちの姿を見ていると心が和みます。ところが、「新型コロナウイルス感染症」は猛威を振るい、その勢いはなかなか衰えません。緊急事態宣言も5月末まで延長され、学校教育活動にも大きな影響を与えています。しかし、コロナ禍の中ではありますが、「できることはやっていこう」「できるようにやっていこう」の方針で、「新型コロナ感染症対策」に配慮し、進めていきます。

中竹っ子ウィーク



先日の児童集会の中で、児童会本部から、中竹野小学校最後の年をみんなが仲良く、楽しい学校生活を送るために、月2回「中竹っ子ウィーク」の活動を実施すると発表しました。内容は

- ・この期間の中でどこかの昼休み1回（月2回）全校遊びを行う
- ・後半の期間には全校生が友達の良いところを見つけて、「いいところボックス」にそのことを書いた紙を入れて、後に全校生に紹介するというものです。児童会の子どもたちが中心となって、6年生が全校児童をまとめ、リードしている姿はとても頼もしいです。

【シリーズ】 **ありがとう！ 中竹野小学校①**



中竹野小学校は、1874年（明治7年）10月15日の轟小学校創立以来、147年もの長い歴史を刻んできました。そして、今年度で幕を閉じることになります。そこで、地域の皆さんに愛され、たくさんの卒業生を送り出した中竹野小学校の歴史と思い出を今月から振り返っていきます。

- 1874年（明治7年） 轟村の蓮華寺に轟小学校創立。
林、金原、東大谷、下塚、轟、鬼神谷、小丸、芦谷、須谷、和田 の10ヶ村の子どもが通いましたが、わずかの数だったようです。
- 1878年（明治11年） 轟初等中等小学校に改める。
- 1887年（明治20年） 轟簡易小学校となる。〔授業料のいらない簡易小学校（3ヶ年）〕 ※この頃の先生の月給は4～6円だったそうです。
- 1890年（明治23年） 轟尋常小学校と改める。
- 1907年（明治40年） 轟尋常小学校を中竹野第一尋常小学校に改称する。
- 1941年（昭和16年） 中竹野第一尋常小学校を国民学校と改める。
- 1945年（昭和20年） 中竹野国民学校を中竹野小学校と改める。



中竹野尋常高等小学校 校舎
〔1938年（昭和13年）〕

※147年の長い歴史の中で、学校制度の改革、戦争を含む大きな時代の変化によって、学校の名前も様々に変わってきたことが分かります。

修学旅行（広島方面） 延期

5月20日（木）～21日（金）に予定していました修学旅行は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、やむを得ず11月5日（金）～6日（土）に延期しました。なお、行き先は変更しません。1日も早く新型コロナウイルス感染症が終息し、楽しい修学旅行が実施できることを願っています。

